

2023年前期U12リーグ研修会レポート(S-レッド)

テーマ ゲーム分析
開催日 2023年6月18日(日) 午前9:00~10:00
会場 下吉田東小学校グラウンド
報告者 高根 啓介(ヴォルケーノ富士吉田ひがしJr.SC)
講師 西川 陽介 氏 (YFAインストラクター)
参加チーム 都留VMC、山城SSSW、田富SSS
伊勢SSS、甲府相川JFC、VCひがしJr.SC

★『ゲーム分析』に対する座学
ゲーム中、指導者は何を見て『分析』をするのか？
『分析』で重要なゲーム中の4つの局面について。

- ①ボールを持っている時。
- ②持っていない時。
- ③攻撃から守備に変わった時。
- ④守備から攻撃に変わった時。

攻撃⇒ボールを失わず、ゴールを目指す！
守備⇒ゴールを守り、相手からボールを奪いに行く！
ポイントの一つに切り替えの速さ！（トランジション）

4種年代では、この4つの局面の中で、『個』にフォーカスして分析する事が重要！

具体例:試合中、ある選手がシュートを外した。
ゴールを見ていたか？⇒見ていなかった。⇒**判断のミス**⇒判断を向上させるトレーニングが必要。
ゴールを見ていたか？⇒見ていた。⇒**テクニックのミス**⇒キックの正確性を向上させるトレーニングが必要。
また、この局面でボールを持っていない選手がどう関わっていたか？も分析の対象となる。

リーグ戦について。
現在、リーグ戦をどう捉えているか？どう分析しているか？を小グループで話し合いを実施。

リーグ戦をどう捉えているか？
グループ分けにより、レベルが近いチームで戦えている。
チーム内のレベル差をどう埋めるのかは、常に課題となっている。

リーグ戦をどう分析しているか？
レベルが近いチーム同士で戦え、勝敗にもこだわっている。
トレーニングマッチと公式戦の切り替えは出来ている。
多くの失敗を経験出来、ミスを取り戻せる環境である。

- ・4種年代で大切な指導の一つに、『失敗を改善させるだけでない』
- ・個の特徴を捉え、ストロングポイントを伸ばす事も重要。

★『ゲーム分析』の実践
パス&コントロールのウォーミングアップを経て、4グループに分かれ、
お互いのゲームを『分析』する。

分析結果
良い点
ゴールを奪うために、しっかりボールを保持していた。

改善点
ボールへ寄せるスピードが足りない。

特記事項
※暑さでバテてしまい、分析するパワーが減少。
日本代表に選ばれた川崎颯太選手のU12年代での様子なども聞け、
短時間であったが、有意義な研修であった。

